

2. 電源ケーブルのソケット側を本体背面の電源コネクタに接続し、プラグ側を電源コンセントに差し込みます。

3. 本体前面のPOWER LED(緑)が点灯したことを確認します。UTPケーブルが正しく接続され、接続先の機器の電源が入っていれば、接続したポートのLNK/ACT LED(緑)が点灯します。

カスケード接続

カスケードポートを使用すると、クロスケーブルを使用することなく、簡単にカスケード接続することができます。また、スイッチ同士のカスケード接続では、カスケードできる数に理論上の制限がありません。そのため、用途に合わせてネットワークを拡張することができます。

カスケードの段数は、ネットワーク上で使用しているアプリケーションのタイムアウトによって制限されることがあります。

本製品のカスケードポートと他のスイッチやリピータを接続するUTPケーブルの長さは100m以内です。

1. 本製品のカスケードポートにUTPケーブル(ストレートタイプ)を接続します。

カスケードポートはポート16と共用のため、ポート16を使用している場合は使用できません。UTPケーブル(ストレートタイプ)のもう一方の端を接続先の機器の通常の10BASE-T/100BASE-TXポートに接続します。

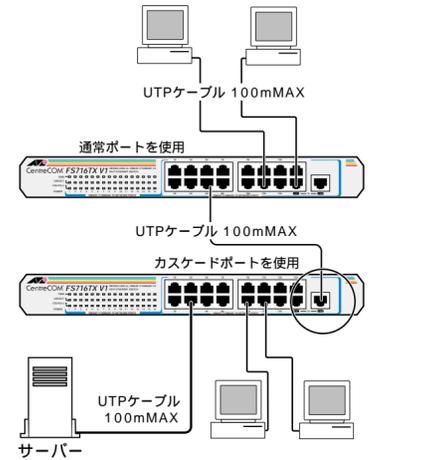


図5 カスケード接続の例

トラブルシューティング

「通信できない」とか「故障かな?」と思われる前に、次のことを確認してください。

POWER LEDは点灯していますか?

POWER LEDが点灯していない場合は、電源ケーブルのコードに断線がないか、電源プラグが正しく接続されているか、正しい電源電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。

LNK/ACT LEDは点灯していますか?

LNK/ACT LEDは接続先機器と正しく接続されている場合に点灯します。

点灯しない場合、以下のことを確認してください。

- 接続先機器に電源が入っているか確認してください。また、端末に取り付けられているネットワークインターフェースカードに障害がないか、ネットワークインターフェースカードに正しくケーブルが接続され、通信可能な状態にあるかなどを確認してください。
- UTPケーブルが正しく接続されているか、正しいUTPケーブルを使用しているか、UTPケーブルが断線していないかなどを確認してください。また、ケーブルの長さが制限を越えていないか確認してください。2つのネットワーク機器の直接リンクを形成するUTPケーブルは最長100mと規定されています(ただし、100MbpsのクラスIIのリピータ同士をカス

ケード接続する場合のリピータ間は5m以内としてください。

- ポート16とカスケードポートを同時に使用していませんか。ポート16とカスケードポートは共用のため、両方を同時に使用することはできません。どちらか一方を選択してご使用ください。
- 本製品のカスケードポートを確認してください。本製品と他のスイッチやリピータをカスケード接続する場合は、本製品のカスケードポートと、接続先機器の通常の10BASE-T/100BASE-TXポートを接続してください。
- 特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。
- UTPケーブルに問題がないか確認してください。ケーブルの不良は外観からは判断しにくい(ため、結線は良いが特性が悪い場合など)、他のケーブルに交換して試してみてください。

HUBの接続段数は正しいですか?

- リピータ(=HUB)の数が制限を越えていないか確認してください。
- イーサネット(10Mbps)の場合、カスケードできるリピータの台数は、最大4台までとされています。
- ファーストイーサネット(100Mbps)の場合、クラスIIのリピータは、1つのコリジョンドメイン内で2台までをカスケード接続することができます。その場合、リピータ間のケーブルの長さは5m以内としてください。クラスIのリピータはカスケード接続することができません。

通信速度/通信モードの設定を確認してください。

本製品の10BASE-T/100BASE-TXポートは、オートネゴシエーション機能をサポートしています。IEEE802.3u規格のオートネゴシエーション機能をサポートしていない製品と本製品の10BASE-T/100BASE-TXポート接続する場合は、接続先の機器の通信モードをHalf Duplexに設定してください。

製品仕様

サポート規格	
	IEEE 802.3 10BASE-T IEEE 802.3u 100BASE-TX IEEE 802.3x Flow Control
転送モード	ストア&フォワード
電源部	
定格入力電圧	AC100-240V
入力電圧範囲	AC90 - 255V
定格周波数	50/60Hz
最大入力電流	0.4A
平均消費電力	13.0W(最大15.0W)
平均発熱量	11kcal/h(最大13kcal/h)
環境条件	
保管時温度	-20~60
保管時湿度	95%以下(ただし、結露なきこと)
動作時温度	0~40
動作時湿度	80%以下(ただし、結露なきこと)
外形寸法(突起部含まず)	
	305(W) X 182(D) X 38(H)mm
重量	
	1.6kg
MACアドレス登録数	
	2,000個
アドレス保持時間	
	300秒
メモリー容量	
	1MByte
適用規格	
安全規格	UL1950
EMI規格	VCCIクラスB

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

保証

製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」をお読みになり、「お客様インフォメーション登録カード」に必要事項を記入して、弊社「お客様インフォメーション登録係」までご返送ください。「お客様インフォメーション登録カード」が返送されていない場合、修理や障害発生時のサポートなどが受けられません。

保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害(人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない)については、弊社はその責をいっさい負わないこととします。

ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、別紙の「調査依頼書(CentreCOM FS716TX V1)」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記のサポート先にFAXしてください。電話による直接の問い合わせは、できるだけご遠慮ください。FAXで詳細な情報をお知らせいただくと、電話によるお問い合わせよりも、より早く問題を解決することができます。

記入内容の詳細については、「調査依頼書のご記入にあたって」をご覧ください。

アライドテレスISサポートセンター
Tel: ☎0120-860-772
月~金(祝・祭日を除く) 9:00 ~ 12:00 13:00 ~ 18:00
土(祝・祭日を除く) 10:00 ~ 17:00
Fax: ☎0120-860-662
年中無休 24時間受け付け

調査依頼書のご記入にあたって

「調査依頼書」は、お客様の環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。迅速に障害の解決を行うためにも、弊社担当者が障害の発生した環境を理解できるよう、次の点にそってご記入ください。

記入用紙に書き切れない場合は、プリントアウトなどを別途添付してください。

ご使用のハードウェア機種について

製品名、製品のシリアル番号(S/N)、製品リビジョン(Rev)を調査依頼書に記入してください。製品のシリアル番号、製品リビジョンは、製品の底面に貼付されているシリアル番号シールに記入されています。

(例)  S/N 0047744990805087 Rev A1

お問い合わせ内容について

どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかを出来る限り具体的に(再現できるように)記入してください。エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージ内容のプリントアウトなどを添付してください。

ネットワーク構成図について

ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

おことわり

本書は、アライドテレスIS株式会社が作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがあります。改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。本装置の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

Copyright © 2000 アライドテレスIS株式会社

商標

CentreCOMは、アライドテレスIS株式会社の登録商標です。

マニュアルバージョン

2000年8月 Rev.A 初版

安全のために

必ずお守りください

警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない
本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない
感電の原因となります。

異物はいれれない 水は禁物
火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

表示以外の電圧では使用しない
火災や感電の原因となります。本製品はAC100-240Vで動作します。なお、本製品に付属の電源ケーブルは100V用ですのでご注意ください。

正しい電源ケーブル・コンセントを使用する
不適切な電源ケーブル・コンセントは火災や感電の原因となります。
接地端子付きの3ピン電源ケーブルを使用し、接地端子付きの3ピン電源コンセントに接続してください。

分解禁止

通風口はふさがらない
内部に熱がこもり、火災の原因となります。

ふさがらない

設置場所注意

雷のときはさわらない

湿気やほこりの多いところ
油煙や湯気のアたる場所
には置かない
火災や感電の原因となります。

設置場所注意

異物厳禁

電源ケーブルを傷つけない
火災や感電の原因となります。
電源ケーブルやプラグの取扱上の注意:
・加工しない、傷つけない。
・重いものを載せない。
・熱器具に近づけない、加熱しない。
・電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

電圧注意

3ピンコンセント

静電気注意
本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊の恐れがありますので、コネクタの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。

静電気禁止

必ずお守りください

次のような場所での使用や保管はしないでください

- ・直射日光の当たる場所
- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所(結露するような場所)
- ・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所(湿度80%以下の環境でご使用ください)
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所(静電気障害の原因になります)
- ・腐食性ガスの発生する場所

取り扱いがはていまいに
落としたり、ぶつかけたり、強いショックを与えないでください。

お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で
誤動作の原因になります。

機器は、乾いた柔らかい布で拭く
汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤(中性)をぬらすな
中性洗剤使用
強く絞る

お手入れには次のものは使わないでください

- ・石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん(化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください)

シンナー類禁止